

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																								
ハーベスト医療福祉専門学校	平成20年3月31日	中本敏郎	〒670-0962 兵庫県姫路市南駅前町91-6 (電話) 079-224-1777																								
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																								
学校法人摺河学園	昭和23年3月31日	摺河祐彦	〒670-0964 兵庫県姫路市豊沢町83 (電話) 079-224-1711																								
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																							
医療	医療専門課程	医薬健康学科	平成23年文部科学省告示 第166号	-																							
学科の目的	地域の人々の健康を最も身近なところで支え、心と身体の健康美を追求して、信頼を持ってお客様とコミュニケーションのとれる健康アドバイザーとしての「登録販売者」を育成する。																										
認定年月日	平成26年3月31日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																				
2年	昼間	2,150時間	1,120時間	50時間	960時間	-	20時間																				
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																						
100人	32人	0人	2人	10人	12人																						
学期制度	■前期:4月1日から9月30日 ■後期:10月1日から3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 各科目所定の講義を2/3以上出席しており、成績が60点以上の者を単位認定している。																							
長期休み	■学年始め:4月1日 ■夏季:2週間(1年生は実習のためなし) ■冬季:2週間(1年生は実習のためなし) ■学年末:3月31日		卒業・進級条件	①進級条件としては、当該年度のすべての科目を修得すること。 ②卒業の条件はすべての科目を修得すること。																							
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 補習等の実施		課外活動	■課外活動の種類 工場見学を実施 ■サークル活動: 無																							
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(平成29年度卒業生) ドラッグストア業界 ■就職指導内容 履歴書作成及び面接指導を中心に行う ■卒業生数 : 18 人 ■就職希望者数 : 17 人 ■就職者数 : 17 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 94 % ■その他 (平成29年度卒業生に関する平成30年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成29年度卒業生に関する平成30年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録販売者</td> <td>③</td> <td>18人</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>ビューティケアアドバイザー</td> <td>③</td> <td>12人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>調剤事務管理士</td> <td>③</td> <td>18人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>POP広告クリエイター</td> <td>③</td> <td>17人</td> <td>17人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	登録販売者	③	18人	18人	ビューティケアアドバイザー	③	12人	12人	調剤事務管理士	③	18人	9人	POP広告クリエイター	③	17人	17人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																								
登録販売者	③	18人	18人																								
ビューティケアアドバイザー	③	12人	12人																								
調剤事務管理士	③	18人	9人																								
POP広告クリエイター	③	17人	17人																								
中途退学の現状	■中途退学者 3 名 平成29年4月1日時点において、在学者32名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成30年3月31日時点において、在学者29名(平成30年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 魅力的なカリキュラムの導入、入学早期の登録販売者像の理解と構築		■中退率 9 %																								
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: (有)無 奨学金:①特待生入学試験合格者(初年度)②年度末に審査して、特に優秀な者③年度末に審査して、優秀な者 授業料等減免: 兄弟姉妹が在籍中に、後から入学した者 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 1名																										
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: (有)無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																										
当該学科のホームページURL	http://www.harvest-school.com/																										

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除いたものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

実習先や業界団体の役職員、専門の講師を教育課程編成委員として委嘱し、実践的な職業教育の質を保証する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会で取り上げられた審議内容は、内容の優先性を考慮して校内委員会および部会、学科会議で審議を重ね、その内容に係わる課題や業務編成等を検討する。最終的には各部署から校長決裁を経て採択する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
廣岡 徹	兵庫教育大学 客員教授(学校経営)	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	②
下山 治男	兵庫県理学療法士会前中播磨ブロック長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	①
岩橋 由梨	有限会社ハーティ(訪問看護ステーション)法人本部部長代理	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	③
寺元 宏樹	野瀬病院 リハビリテーション科 科長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	③
田中 洋三	はりま総合福祉評価センター 理事長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	①
吉田 弘子	ヘルパーステーションだいたう 介護福祉士	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	③
萩原 勝義	幼保連携型認定こども園萩学園園長、全国認定こども園協会理事	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	①
正木 竜哉	幼保連携型認定こども園瑠璃こども園園長、姫路市保育協会会長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	③
福田 忠浩	姫路薬剤師会 副会長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	①
岸田 憲治	ゴダイ株式会社(ドラッグストア)開発本部長兼経営企画室長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	③
中本 敏郎	ハーベスト医療福祉専門学校 校長	平成30年4月1日～平成31年3月31日(1年)	
北浜 伸介	ハーベスト医療福祉専門学校 副校長	平成30年4月1日～平成31年3月31日(1年)	
小寺 正人	ハーベスト医療福祉専門学校 理学療法学科長	平成30年4月1日～平成31年3月31日(1年)	
益永 万里	ハーベスト医療福祉専門学校 介護福祉学科長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	
北野 実千代	ハーベスト医療福祉専門学校 リトミック保育学科長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	
黒田 利幸	ハーベスト医療福祉専門学校 教頭兼医薬健康学科長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	
竹中 有	ハーベスト医療福祉専門学校 教務部長	平成30年4月1日～平成31年3月31日(1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(開催日時)年2回、10月と3月

第1回 平成29年10月18日 9:00～10:00

第2回 平成30年3月15日 9:00～10:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
「実習において、実習中にお客様から言われた内容を集められているか。」という、質問があった。学生は、実習を行った日には、『実習日誌』に当日の実習内容と反省、所見を記入している。それをホームルームの中で、ひとり一人と面談しながら、実習状況を確認し、その中で、クラスの学生が共有すべき課題とか心がけるべき点を持ち、実習に臨むようにしている。お客様から、笑顔がすてきですねとか、話をよく聴いてくれてありがとう、また来るねと言ってもらった時などは、とてもうれしく、これらのことは絶えず意識して行動している。「コミュニケーション学」の授業では、特に、相手の立場、気持ちになって行動できるよう、お客様に寄り添い、笑顔で対応できる豊かなコミュニケーション能力のある人物を育成するため、自己紹介の他に他己紹介のロールプレイを取り入れ、より実践的な授業を行っている。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校の教育方針に理解を示し、午後からの実習が行いやすいように地域に密着して多くの店舗を展開している企業や、学生の実家に近い店舗を有する企業を選定している。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

登録販売者としての技術や知識を身につけ、地域の人々の健康と美を支える販売者としての基本を身につけるべく実習を行っている。日々の実習での内容、反省、所見については、『実習日誌』に記入し、それを実習先の店長の点検を受け、改善すべき点、良かった点を指摘してもらっている。クラスの面談で『実習日誌』を点検し、実習での各自の課題、良かった点を確認し、クラスで共有すべき点は、共有し、実習に活かしている。2～3ヶ月毎に実習評価をA, B, Cで評価している。実習先の評価は1年間の実習終了後にA, B, Cで評価してもらっている。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
実務実習	登録販売者試験受験と企業に就職するにあたり、1年間の実務経験を得るための実習。ドラッグストアでの実務を、1か月80時間以上、12か月連続で行う。	ゴダイ株式会社、株式会社ココカラファインヘルスケア、ウエルシア関西株式会社、株式会社キリン堂、株式会社プレヒまわり、株式会社ザグザグ、株式会社マツモトキヨシ中四国販売、株式会社サンドラッグ
健康食品講座	一般に「広く健康の保持増進に資する食品として販売・利用されるもの全般」について学習する。	ゴダイ株式会社
ヘルスケア講座	ドラッグストアで販売されている商品に関する学習を通して、登録販売者として、お客様に適切に対応できる力を身につける。	サンスター、P&G、塩野義ヘルスケア
ビューティケアアドバイザー講座	ドラッグストア等で働くうえで役立つビューティケアアドバイザー資格の取得を目指す。	日本チェーンドラッグストア協会
調剤事務講座	調剤報酬事務を学び、調剤事務管理士取得を目指す。	株式会社ソラスト

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

職員研修規程第2条に基づき、登録販売者を養成する上で、ドラッグストアで扱っている商品の知識への理解を深めるため、及び商品販売時のお客様への対応の仕方等について研修を受ける。また、医薬品メーカーでの研修を通して、商品への理解を深めると共により実践的な力を身につけるため研修を受ける。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

・中堅研修:平成29年7月12日(本校)校訓実践指導

本校の「心の教育」を充実させるため、本校の校訓である「誠実」、「敬愛」、「礼節」を日常生活の中で、いかに学生に意識させ生活の中で実践・実行させていくかを話し合い、日々の授業、朝礼、終礼、ホームルーム活動の中で、指導すべき具体的な内容を確認した。

②指導力の修得・向上のための研修等

・企業活動体験研修:平成29年7月28日(ライオン株式会社)

ライオン明石工場で、ドラッグストアで扱っている商品で、歯ブラシと歯磨き粉の製造工程を見学し、それぞれの商品の進化過程の研修をするとともに、歯ブラシの使い方、歯磨きの仕方等についても勉強し、学生がドラッグストアで実際にお客様に対応するのに必要な知識や対応方法について、研修し、より実践的な指導力の向上に役立った。

・ビューティケア研修

講師を招き、ビューティケアアドバイザーに関する基本的な知識・技能の向上のため、講義と体験活動を行い、化粧品販売の技術だけでなく、肌の健康・美を保つ食品やサプリメントの知識を習得し、美容に関して幅広くアドバイスできるよう、研修を行った。(教員2名参加)

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

中堅研修:平成30年7月18日(本校)校訓実践指導

校訓を日々の生活、授業、活動の中で、いかに実践させ、定着させるかを研修する。

②指導力の修得・向上のための研修等

・ビューティケア研修

講師を招き、ビューティケアアドバイザーに関する基本的な知識・技能の向上のため、講義と体験活動を行い、化粧品販売の技術だけでなく、肌の健康・美を保つ食品やサプリメントの知識を習得し、美容に関して幅広くアドバイスできるよう、研修を行う。(教員3名参加)

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

実習先や業界団体の役職員、地域の代表、卒業生、保護者等を学校関係者評価委員として委嘱し、学校運営の質を保証する。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目標
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	学修成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

「登録販売者の国家試験の合格率が100%となっている、全国平均では、45%ぐらいと聞いている。100%の合格率がずっと続いているのだから、もっと学校案内等で高校生にPRするよう工夫されたいのではないか。」との意見を頂き、全員が合格した時点で、チラシを作って広めるようにした。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
廣岡 徹	兵庫教育大学 客員教授(学校経営)	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	有識者
岩橋 由梨	有限会社ハーティ(訪問看護ステーション) 法人本部部長代理	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	企業
田中 洋三	はりま総合福祉評価センター 理事長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	企業
萩原 勝義	幼保連携型認定こども園萩学園園長、全国認定こども園協会理事	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	企業
岸田 憲治	ゴダイ株式会社開発本部部長兼経営企画室長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	企業
寶谷 亮介	兵庫県播磨高等学校 副校長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	企業
田中 広一	南駅前町 自治会長	平成30年4月1日～平成31年3月31日(1年)	自治会役員

中西 真利	保護者	平成30年4月1日～平成31年3月31日(1年)	PTA
河村 幸樹	同窓会長	平成30年4月1日～平成31年3月31日(1年)	卒業生
中本 敏郎	ハーベスト医療福祉専門学校 校長	平成30年4月1日～平成31年3月31日(1年)	
北浜 伸介	ハーベスト医療福祉専門学校 副校長	平成30年4月1日～平成31年3月31日(1年)	
黒田 利幸	ハーベスト医療福祉専門学校 教頭兼医薬健康学科長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	
小寺 正人	ハーベスト医療福祉専門学校 理学療法学科長	平成30年4月1日～平成31年3月31日(1年)	
益永 万里	ハーベスト医療福祉専門学校 介護福祉学科長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	
北野実千代	ハーベスト医療福祉専門学校 リトミック保育学科長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他()) 5月中に掲載する

URL: <http://www.harvest-school.com/>

・企業等との指導者会議で、教育課程表などとともに配付する。

・学生募集対象高校の進路担当部に、募集資料とともに配付する。

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

情報提供による本校理解の推進と相互の信頼感の構築。

実習・演習内容の改善とさらなる進展。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画
(2)各学科等の教育	各学科等の教育
(3)教職員	教職員
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育
(5)様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6)学生の生活支援	学生の生活支援
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8)学校の財務	学校の財務
(9)学校評価	学校評価
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

当校ホームページの学校案内において「職業実践専門課程」および「学校評価」に関わる実施内容を掲載する。

URL <http://www.harvest-school.com/school/index.html>

授業科目等の概要

(医療専門課程医薬健康学科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			薬学総論	登録販売者試験対策として「医薬品に関する特性と基本的な知識(第1章)」を学ぶ。	1前	20		○			○			○	
○			医学一般	人体の臓器のしくみや、様々な疾病の種類と発病の原因を学ぶ。	1前	20		○			○			○	
○			漢方薬学	様々な漢方薬の種類と効能を学ぶ。	1通	60		○			○			○	
○			ビューティケア基礎	ビューティケアに関する基礎知識及び技術・実践	1前	20		△		○	○			○	
○			健康科学	球技中心に様々なスポーツを行い、体力増進を図る。	1前	20				○		○	○		
○			医療人としての理念と実践	「人としてどうあるべきか」をもとに、医療人とはどのようなものか、どうあるべきかを学ぶ。	1前	20		○			○	○		○	
○			医療概論実習	医薬品を適切に販売できる登録販売者を育成する。	1前	20		○	△		○			○	
○			調剤事務講座	調剤報酬事務を学び、調剤事務管理士取得を目指す。	1通	70		○		△	○			○	○
○			英会話	ドラッグストアで想定される英会話を例にとり、日本語と英語の違いを学びながら実用スピーキング力を身につけ、現場対応ができるようにする。	1前	20		○	△		○			○	
○			中国語会話	中国語の母音・子音・声調、日本語との文法の違いを理解、漢字語源を理解しながら、漢方薬用語の理解への発展を図る。	1前	20		○	△		○			○	
○			情報処理技術I	パソコンの有用な使い方と、ワード、エクセル、パワーポイントの基本操作を学ぶ。	1前	20		△		○	○			○	
○			POP 広告クリエイター講座	仕事で生かせるPOP広告のスキルを学ぶ。	1通	50		○		△	○			○	
○			ホスピタリティ・デザイン学	心響き合う素敵な関係づくりのために、美しい立ち居振る舞いや、正しく美しい言葉遣いなどを学ぶ。	1前	20		○	△		○			○	
○			手話	聴覚障害者についての理解と、日常生活の中での手話を学ぶ。	1前	20		○	△		○			○	
○			人体構造学	登録販売者試験対策として「人体の働きと医薬品(第2章)」を学ぶ。	1後	30		○			○			○	
○			薬理・薬物治療学 A・B	登録販売者試験対策として「主な医薬品とその作用(第3章)」を学ぶ。	1後	100		○			○			○	
○			薬事関係法規	登録販売者試験対策として「薬事関係法規と制度(第4章)」を学ぶ。	1後	30		○			○			○	
○			医薬品安全情報学	登録販売者試験対策として「医薬品の安全使用と安全対策(第5章)」を学ぶ。	1後	30		○			○			○	
○			コミュニケーション学	人と関わる上で大切な話のキャッチボールのスキルを学ぶ。	1後	20		○	△		○			○	

○		登録販売者試験対策講座	登録販売者試験合格に向けて、各章ごとに実力の向上を図る。	2前	150	○		○	○	○	○	
○		登録販売者過去問演習	登録販売者試験合格に向けて、問題演習をして実力をつける。	2前	20		○	○		○		
○		医療事務講座	医療事務を学び、医療事務管理士資格の取得を目指す。	2通	70	○		○			○	
○		医薬品適正販売実習	販売演習と講義によって、医薬品を適切に販売できる登録販売者を育成する。	2後	60	○	△	○			○	
○		健康食品講座	病気を防ぐためのさまざまな健康食品について学び、お客様に適切なアドバイスができる知識を身につける。	1前	20	○		○			○	○
○		情報処理技術Ⅱ	ワード、エクセル、パワーポイントの応用操作を学ぶ。	2後	30		○	○			○	
○		ビューティケアアドバイザー講座	ドラッグストア等で働く上で役立つビューティケアアドバイザー資格の取得を目指す。	2後	90	○	△	○			○	○
○		販売士講座	販売士検定の資格取得を目指す。	2後	60	○		○			○	
○		ヘルスケア講座	健康に関する知識と技術の習得を図る。	2後	20	○	△	○		○	○	○
○		健康と介護	健康維持と介護の基礎知識を習得する。	2後	30	○	△	○		○		
○		卒業研究	各自が決めたテーマにしたがって自主的に研究・考察することにより、2年間の学びのまとめとする。	2後	30		○	○		○		
○		実務実習	登録販売者試験受験要件の1つである1年間の実務経験を得るための実習。ドラッグストアでの店頭実務を、1か月80時間以上、12か月連続して行う。	1後 2前	960			○	○		○	○
合計				31科目	2,150単位時間(単位)							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
全科目必修修・修得	1学年の学期区分	2期	
	1学期の授業期間	15週	

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。